

本書をお使いになる皆さんへ

ほんしょ つか みな

日本留学試験は、2002年度より、留学生のための日本の大学入学試験の一つとして、
それまで実施されていた私費外国人日本留学生統一試験にかわるものとして実施され
ている試験です。6月と11月の年間2回実施され、受験生は受験する大学の指定に基
づいて、日本語、理科、総合科目、数学の四科目の中から受験します。日本語の試験科
目は試験時間と配点が最も多く、記述、読解、聴読解、聴解の四つの領域で構成されて
います。

日本語科目では、日本語能力試験などではあまりなじみのない記述と聴読解の二つ
の領域の問題が出題されています。

記述問題は、作文形式による問題です。これは、テーマに沿って自分の意見を自由
に書くという問題ではなく、出題されている事柄についてどう考えるかという問題です。
典型的な問題として、提示されている二つのテーマのどちらかを選び、それに沿って規
定字数内で自分の意見を作文としてまとめます。自分の考えを一定の分量の中にどうう
まくまとめるかということを考えながら、指定時間内に書き上げなければなりません。

聴読解問題は、絵や表、グラフなど、主に絵によって書かれている情報をもとに、正
しい解答を一つ選ぶという問題です。必ずしも四つの絵があるわけではなく、絵がグラ
フであったり表であったりします。

本書は、実際の日本留学試験の出題傾向に基づき作成されています。本書の問題で
練習して、試験の出題傾向をつかんでください。

◆ 本書の使い方 ◆

ほんしょ つか かた

本書は、日本留学試験の日本語科目の対策用として作成された問題集です。独学用としても、また、日本語学校などの日本語教育機関の教材としても使用できます。以下の点にご留意いただき、使用していただければ幸いです。

本書では、記述、読解、聴読解、聴解の四領域をそれぞれ集中的に学習できるように、10回分の試験問題を領域別にまとめました。最後には、実際の試験の直前の対策ができる模擬試験を1回分用意してあります。独学の皆さんも、先生が教室で指導される場合も、この四領域のそれぞれを集中的に行うことで、その領域の着実な実力養成ができます。

〈本書の構成〉

PART1 準備編 試験の内容・形式を知る	記述問題	CD1
	読解問題	
	聴読解問題	
	聴解問題	
PART2 実戦トレーニング編 (第1～第10回) 試験に形式に慣れ、弱点を強化する	記述問題 1題 (30分)	CD1
	読解問題 2題 (5分)	
	聴読解問題 2題 (5分)	
	聴解問題 2題 (5分)	
PART3 模擬試験 トレーニングの仕上げ・実力チェック	記述問題 1題 (30分)	CD2
	読解問題 17題 (40分)	
	聴読解問題 12題 (55分)	
	聴解問題 15題	

記述の問題は、解答例は一つの参考として、自分が知っている言葉を使って自分の表現で何度か書き直してみることで、より効果があります。読解の問題は、難しいと思われることばには問題文の中に*をつけて解説を付けたので、問題を解いたあとの語彙力の増強に役立てていただければと思います。聴解と聴読解の問題は、問題の演習後、聞きとれずに難しかったことばをもう一度確認し、全体の復習をしていただければ効果が高まります。

各領域の問題を解いたあとで、難しいと思われることばや文型を確認、復習することで、学習効果が一層高まります。

実戦トレーニング編の一回分は、記述一題、読解・聴読解・聴解各二題です。一回分の時間配分は、実際の試験を想定し、記述は約30分、読解・聴読解・聴解はそれぞれ約5分を目安としてください。

四領域をまんべんなく一緒に練習したい場合は、記述、読解、聴読解、聴解のそれぞれの一回分を通して行ってください。一回分を通して行う場合は、約45分を目安としてください。

この本で勉強して、皆さんが日本留学試験に合格されることを願っています。

片桐 史尚
かたぎり ふみたか
岩佐 靖夫
いわさ やすお
大崎 功
おおさき いさお

◆ 目 次 ◆ もく じ

本書をお使いになる皆さんへ	3
本書の使い方	4
音声ダウンロードの手順	8
PART1 準備編	11
◆記述問題の解き方	12
記述問題に出ることば	14
◆読解問題の解き方	15
読解問題に出ることば	17
◆聴読解問題の解き方	23
◆聴解問題の解き方	25
聴読解問題・聴解問題に出ることば	27
PART2 実戦トレーニング編	31
第1回	32
記述問題	32
読解問題	33
聴読解問題	35
聴解問題	37
第2回	38
記述問題	38
読解問題	39
聴読解問題	41
聴解問題	43
第3回	44
記述問題	44
読解問題	45
聴読解問題	47
聴解問題	49
第4回	50
記述問題	50
読解問題	51
聴読解問題	53
聴解問題	55

第5回	56	第8回	74
記述問題	56	記述問題	74
読解問題	57	読解問題	76
聴読解問題	59	聴読解問題	78
聴解問題	61	聴解問題	80
第6回	62	第9回	81
記述問題	62	記述問題	81
読解問題	63	読解問題	83
聴読解問題	65	聴読解問題	85
聴解問題	67	聴解問題	87
第7回	68	第10回	88
記述問題	68	記述問題	88
読解問題	69	読解問題	90
聴読解問題	71	聴読解問題	92
聴解問題	73	聴解問題	94
PART3 模擬試験	95		
記述問題	97		
読解問題	98		
聴読解問題	115		
聴解問題	127		

〈別冊〉日本留学試験 日本語 総合対策問題集

PART2 実戦トレーニング編	
答えとスクリプト	2
PART3 模擬試験	
答えとスクリプト	40
模擬試験 解答用紙	62

PART 1

じゅん び へ ん
準備編

記述問題

読解問題

聴読解問題

聴解問題

記述問題の解き方

記述問題では、二つのテーマが提示され、どちらか一つを選んで答えるというパターンの問題がよく出題されています。

[例]

お酒は社会で必要になる場面もあるから、体質的にどうしても飲めない場合はしかたないが、そうでなければ、慣れておいたほうがいい、という意見があります。これについて、お酒の長所と短所の説明をして、あなたの意見を書いてください。

食べ物に人工的に色をつけるのは、色をつける材料が体によくないのでやめるべきだ、という意見があります。料理がおいしそうに見え、食欲を高めるという肯定的な意見にも触れて、あなたの意見を書いてください。

[1つめのテーマについての解答例]

お酒は、その人の体質によって飲める量に違いが出てきますが、お酒が弱い人でも、自分が飲める量を知り、その範囲で飲むことで、徐々に慣れていくことができます。

お酒は、飲みすぎると体に悪いですし、酔うと、人に迷惑をかけたり、よくない発言をしたりすることもあります。しかしその一方で、お酒が持つ力が人間関係を円滑にしてくれることも事実だと思います。私たちは、仕事を通じてだけの人間関係ではどうしても緊張しがちで、一定の距離を置いた人間関係になり、ストレスもたまりやすくなります。そうした中にお酒が入ることで、雰囲気が一気に和やかになることがあります。お酒の持つこのような利点を考えれば、お酒が弱い人も抵抗感がなくなり、お酒を飲むことを楽しく感じるようにもなると思います。

また、お酒の楽しみは、一人でゆっくりと飲むことにもあると思います。一人でお酒を飲むことで、リラックスして、いろいろなことをじっくり考えることもできます。

適度にお酒を飲むことは、大人になってからの社会でさまざまな役割を持っていると考えます。

上記で461字になります。「～と思います」などの文型を使って、自分の意見や考えを簡潔に書きましょう。具体例や自分の経験をまじえ、テーマになっていることについて、長所と短所、または肯定的な見方と否定的な見方を対比させながら、述べていきます。

[2つめのテーマについての解答例]

私は食べ物に色をつけるのはよくないと思います。なぜなら、色をつけるために使われる材料に有害な物質が含まれていることが多いからです。伝統的な日本料理のように、自然にあるものをうまく使う場合もありますが、大量生産される食品には、人工的に作られる化学的な材料が多く使われます。

以前、健康と食べ物に関する記事を読んだときも、商品が売れるように食品会社がそのような材料を多く使っている実態が紹介され、驚いたことがあります。商品の成分表示を見ればすぐにわかることですが、本当にあらゆる食品に使われています。そして、その記事の中で特に考えさせられたのは、長い間、人工的に色をつける材料を食べ物と一緒にとり続けると、それが体内に蓄積され、直接的な原因ははっきりしないものの、さまざまな病気を引き起こすということです。

確かに、色鮮やかな食品は見た目もきれいですし、食欲を促す効果もあるでしょう。しかし、体に有害な成分については、取り除いていくべきだと思います。いちばん大切なのは、人間の体なのでから。

上記で441字になります。

読みやすく、わかりやすい文章にするために、次のことを心がけましょう。

- 重複を避け、順序よく書く。
- 抽象的になりすぎないように、具体的に。
- 一つの文が長くなりすぎないように、簡潔に。
- 書き出しの部分で時間をかけすぎない⇒たとえば、結論や問題提起などを短い文で示し、文章全体の流れをつくる。
- 文と文のつながりに気をつけながら、文章の流れをわかりやすくする。ただし、接続詞の使い過ぎにも注意する。

きじゅつもんたいで
記述問題に出ることば

- 一般的 (な) : general / 一般 / bình thường
- 一方 : on the other hand / 一方面 / mặt khác
- 恩恵 : favor / 恩惠 / ân huệ
- 結論 : conclusion / 结论 / kết luận
- 肯定 (する) : (to) affirm / 肯定 / khẳng định
- このように : like this / 这样的 / như vậy
- 賛成 (する) : (to) agree / 赞成 / tán thành
- ~しかねません : unable to ~ / 可能 ~ / có nguy cơ ~
- 実践 (する) : to practice / 实践 / thực hành
- 実に : truly / 确实 / thật sự
- 示す : to indicate / 表示 / chỉ ra
- 状況 : situation / 状况 / tình hình
- 消極的 (な) : pessimistic / 消极 / tiêu cực
- ~すべきだと思います : think that ~ should be done / 我觉得应该 ~ / tôi nghĩ rằng nên ~
- ~するおそれがあります : may be liable to ~ / 恐怕 ~ / có nguy cơ ~
- ~することになりかねません : may end up ~ing / 可能会 ~ / có nguy cơ ~
- 積極的 (な) : assertive / 积极 / tích cực
- 想像 (する) : (to) imagine / 想象 / tưởng tượng
- ~たことがあります : have ~ before / ~过 / đã từng ~
- 確かに : certainly / 确实 / đúng là
- 例えば : for example / 比如 / ví dụ
- ~として : as ~ / 作为 ~ / với tư cách là ~
- というのも : because / 所说的也 ~ / bởi vì
- なぜなら : the reason is / 因为 / bởi vì
- ~にとって : as for ~ / 对 ~来说 / đối với ~
- ~にもかかわらず : regardless of ~ / 尽管 ~ / mặc dù ~
- ~は欠かせません : ~ is indispensable / 不可缺少 ~ / không thể thiếu ~
- 反対 (する) : (to) oppose / 反对 / phản đối
- 否定 (する) : (to) deny / 否定 / phủ định
- ~べきでしょう : shoul ~ / 应该 ~ / tôi nghĩ rằng nên ~
- 本来 : originally / 本来 / đáng lẽ
- まずは : to begin with / 首先 / trước tiên
- ますます : increasingly / 越来越 / càng ngày càng
- むしろ : rather / 与其...不如 / thà
- もちろん : of course / 当然 / dĩ nhiên
- 最も重要 : most important / 最重要 / quan trọng nhất
- やはり : after all / 还是 / quả nhiên
- 予想 (する) : (to) expect / 予想 / dự đoán
- 予測 (する) : (to) predict / 预测 / dự đoán
- より重要 : even more important / 比 ~重要 / quan trọng hơn

どっかいもんたいと かた
読解問題の解き方

どっかいもんたい
読解問題については、主に以下の二つのタイプが例年出題されています。

- ① () の中に正しいものを入れる問題

[例] 次の文章の (A) に入るものとして最も適当なものはどれですか。

タイを訪れた時のことである。左手で人の頭を撫でるのは*タブーであるを知っているが、タイで可愛い女の子を見た時、(A)。女の子はひどく迷惑そうな顔をしたが、その時、自分ではなぜ女の子が迷惑そうな顔をしたのか、その意味がわからなかった。後になって、左手で人の顔を撫でてはいけないことを知り、はっと気付いた。日本を出発するまで、左手で人の顔を撫でてはいけないとわかっているが、自分としては何の悪気もなく無意識に出てしまった行為なのである。最近、異文化交流の必要性がさかんに言われているが、自国で習慣づけられている行動を、異文化交流の際に上手に変えることは、並大抵のことではないことをつくづく感じた。

*タブー : してはいけないと決められていること。禁忌事項。

1. うっかり左手で人の頭を撫でてしまった
2. うっかり右手で人の頭を撫でてしまった
3. うっかり左手で私の頭を撫でてしまった
4. うっかり右手で私の頭を撫でてしまった

答えは1番です。このような問題では、() の前後の内容をつかみながら、文と文、あるいは節と節などが、矛盾しないでつながるかどうを確認します。直前や直後の部分が重要な場合が多いですが、少し離れた部分に関係する場合があります。この問題では、「左手で人の頭を撫でるのはタブー」と「~ながら」の意味を理解するのがポイントです。また、この「~ながら」は「~のに」と同じような意味であることに注意が必要です。